

事務局 NEWS



このニュースは「日本連盟から県連盟事務局への情報提供」を主目的として毎週水曜日に発行しています。

今週のトピック

- 18日(日)栃木県の「ツインリンクもてぎ」で開催された『インディ ジャパン ザ ファイナル』レース。今シーズンのインディレースには、昨年同様ボーイスカウトアメリカ連盟(BSA)のスカウトマークをペイントしたレーシングカーが出走しています。これにあわせ、BSAのご招待で、BSAと日本のスカウトあわせおよそ500人が、インディ ジャパン ザ ファイナルの決勝レースの応援に駆けつけました。詳細は本ニュース6頁をご覧ください。



■平成23年度第2回全国県連盟コミッショナー会議開催(報告)

日時：9月17日(土)13:00～19日(月)11:00

場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者：新藤日本連盟コミッショナー、膳師副コミッショナー、村田副コミッショナー、鈴木国際副コミッショナー、西村会員サービス委員会委員長、井上地域貢献委員会委員長、中野理事、堀江16NJ実行委員長、県連盟コミッショナー45人(代理7人含む)

- 内容：1. 平成23年度日本連盟コミッショナーの取り組み
2. 平成23年度各常設委員会の取り組み(プログラム委員会、指導者養成委員会、国際委員会、地域貢献委員会、広報委員会、安全委員会)
3. 第22回世界スカウトジャンボリー派遣概要報告
4. 第23回世界スカウトジャンボリー・第16回日本ジャンボリー準備状況
5. APRワークショップへの一部参加
6. APR役員講演



テーマ①：インサービスサポートについて

講演者 ポール・パーキンソン(豪・成人訓練開発担当コミッショナー)

テーマ②：アダルトリソースポリシー；西洋と東洋の融合の中で

講演者：マク・ワイミン(香港・APRアダルトサポート小委員長)

■ アジア太平洋地域主催ワークショップ「アダルトリソース委員会とトレーニングシステム～その有効なあり方とは」の開催（報告）

今回のワークショップは、第39回世界スカウト会議で採択された世界アダルトリソース方針をもとに、各国連盟の成人資源・支援担当の主要指導者に対し、アジア太平洋地域および各国連盟レベルの提案や経験を共有する事によって「スカウト運動における成人」の運営に対する有効な解決策・戦略を見つけることなどを目的に、4日間開催されました。

開会式では、勝山文部科学省スポーツ・青少年局青少年課長にご挨拶をいただきました。また、3日目には、17日（土）より開催していた全国県連盟コミッショナー会議の参加者もこのワークショップに参加し、成人資源の活用について理解を深めました。



期 間：9月16日（金）～19日（月・祝）

場 所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

テ ー マ：「アダルトリソース委員会とトレーニングシステムについて～その有効なあり方とは～」

参 加 者：10カ国25人（内、日本より6人）

スタッフ：鈴木ワークショップディレクター（国際副コミッショナー）、マク・ワイミンAPRアダルトサポート小委員長、ポール・パーキンソンAPRアダルトサポート小委員会副委員長、上道APRアダルトサポート小委員会委員・リーダートレーナー、吉川、中橋、大久保 各リーダートレーナー

奉 仕 者：指導者養成員会、国際委員会、東京連盟、千葉県連盟より29人

- 内 容：1. 世界アダルトリソース方針の重要性の理解
2. 「スカウト運動における成人」のライフサイクルの認識
3. 各国連盟のアダルトリソースを担当するための効果的な運用や成人のトレーニングの質の向上への解決策の策定
4. 各国連盟におけるアダルトリソース・マネジメントを充実するための新たな計画案の策定



■平成23年度ユースフォーラムの開催（報告）

2年に一度開催のユースフォーラムが、18歳以上25歳以下のベンチャースカウト、ローバースカウトまたは同年代の指導者を対象に開催されました。

今回のフォーラムは、テーマを「ローバースカウト年代の活動の強化と必要な支援について」として協議し、フォーラム参加者により採択文・提言文を作成しました。

この採択文・提言文は、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第2回県連盟コミッショナー会議において、フォーラム議長団より新藤日本連盟コミッショナーに提出しました。

採択文・提言文については、本ニュース巻末に掲載しております。ご確認ください。また、今後、各都道府県連盟にも送付するほか、日本連盟ホームページでも公開します。

日時：9月17日（土）10：00～18日（日）13：30

場所：（1日目）東京（三鷹）・ボーイスカウト会館

（2日目）東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：29県連盟41人、膳師フォーラム実行委員長、他委員5人



■第16回日本ジャンボリー／

第30回APRスカウトジャンボリー実行委員会（第1回）の開催

日時：9月19日（月・祝）13：30～17：00

場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者：堀江実行委員長、中野23WSJ・JMTチェアマン、アブドゥラ・ラシード APR事務局長、牛山、江原、佐野、膳師、中野、村田各委員、森 山口県連盟副理事長（市川 熙 委員の代理出席）

参席：山口県教育庁社会教育・文化財課 藤井 社会教育主事、山口市教育委員会 塩見 社会教育課課長、新藤日本連盟コミッショナー、西村常務理事

議題：1. 16NJ実行委員会準備会議の開催について（8月27日開催）
2. 16NJ実行委員会（JMT）と部会（JCT）の編制について
3. 16NJ実行委員会規程について
4. 都道府県連盟への16NJ割当参加人数希望調査について

5. 16NJおよび23WSJ予算案について
6. 16NJ（30APRSJ）基本実施要領について
7. 16NJ（30APRSJ）大会ロゴについて
8. 23WSJ・16NJに関する都道府県連盟への依頼事項について
9. 今後の関係会議開催予定について 他

アブドゥラ・ラシード APR事務局長の出席を得て、第1回目の実行委員会を開催しました。10月のAPRスカウト委員会に提案する大会ロゴと参加費について、また、10月の理事会に提案する基本実施要領と予算等について協議しました。

■第3回安全促進フォーラム（東京会場）

日 時：9月11日（日）10：00～16：00

場 所：東京・ボーイスカウト会館 講堂

参加者：東京連盟より54人、講師、運営スタッフ等4人

内 容：1. 裁判事例に学ぶ安全対策について

樽谷弁護士（安全委員会委員）から子どもの事故事例を題材とした講義があり、その後グループ毎で討議し、最後に裁判所の判例をとおして、安全対策について学びました。

2. そなえよつねに保険と対人賠償責任保険について

そなえよつねに保険、対人賠償責任保険について説明があり、その仕組みについて理解を深めました。

3. 事故事例や生きたデータを使った安全確保について

安全委員会委員より、傷害共済制度で受けつけた事故データの分析結果を基に、どんな事故が起こっているかその概要説明があり、その後、グループ毎に仮想の団となり、事故事例集に基づき、“事故の原因”、“どうしたら防げたか”、“同様の事故を起こさないためにどう指導するか”について討議し、発表をしてもらい、それぞれの防止策について説明がありました。事故を減らすためには、団や隊が安全に対する共通の認識を持ち、一丸となって教育・指導に取り組むことなどの説明を行いました。

※安全を意識しすぎて萎縮することなく、十分な安全確保をおこなうことにより、冒険的プログラムが展開できることについても理解を深めました。

■平成23年度「スカウトの日」即日集計結果のお知らせ

今年も9月19日「スカウトの日」即日集計にご協力いただきましてありがとうございました。即日集計の最終結果（9月20日現在）は、別紙のとおり（最終頁に添付）となりました。

<全国からの概要報告の集計>

今年の「スカウトの日」は、台風15号と秋雨前線の影響で北日本と西日本では、雨となりましたが、「地球大好き！ I love the Earth.」を合言葉に各地で活動が行われました。

- ・全国からは「近年はエコや分別ゴミ処理への理解が高く、ペットボトルや空き缶はあまり街に落ちていないようである」「人目につかないところ、植え込みや街路樹の中にごみが捨ててあった」等の報告が寄せられています。
- ・回収されたものとして、タバコの吸い殻、ペットボトル、缶、瓶をはじめ、食品包装容器、金属類の破片、針金、釘、などの報告がありました。
- ・5県連盟より、即日集計の報告が時間内に到着いたしませんでした。
- ・参考：昨年度（平成22年度）の即日集計データ

参加団	参加者数	回収空き缶数	ペットボトル
1,066団	37,158名	71,389本	31,015本

※実施されました各団の皆様ならびに県連盟等で集計作業に従事いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。

<各県連盟事務局担当者の方へ>

プログラム課への報告書書式による提出締切は、11月10日（木）です（各団別の報告書様式によるもので、写真等あれば添付ください。各団から県連盟への報告は10月20日までとしています）。お忙しい中恐縮ですが、各団へのフォローおよび集計をよろしくお願い申し上げます。

■東日本大震災関連

◇国内での募金（寄付）（9月16日現在）

1. 被災者、被災地に対する義援金	109,787,774円
2. スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金	12,553,157円
3. 災害活動支援金	2,747,753円

◇海外での募金（寄付）

・各国連盟などからの見舞金・支援金	13,849,149円
-------------------	-------------

◇義援金について

被災者、被災地に対する義援金については、すでに岩手県、宮城県、福島県にお届けしておりますが、残りの義援金を日本赤十字社にお渡しする調整を進めております。

■「インディージャパンザファイナル」への招待

栃木県の「ツインリンクもてぎ」で開催された『インディ ジャパン ザファイナル』レース。今シーズンのインディカーレースには、昨年同様ボーイスカウトアメリカ連盟（BSA）BSAのスカウトマークをペイントしたレーシングカーが出走しています。これにあわせ、BSA 300人と被災にあった福島連盟、茨城県連盟（主に北茨城）、また地元である栃木県連盟あわせ185人のスカウト・指導者がBSAのご招待で、インディージャパン ザ ファイナルの決勝レースの応援に駆けつけました。

カーナンバー19番、BSAのマシンを運転するセバスチャン選手は6位でゴール。無事ポイントを獲得。両国のスカウトたちは大いに興奮し、レースを見守っておりました。

日 時：9月18日（日）

場 所：栃木県・ツインリンクもてぎ

参加者：アメリカ連盟極東地区より約300人、福島連盟、茨城県連盟、栃木県連盟より185人、計485人



※インディカーレースの日本での開催は今年が最後になり、BSAのマシンを直接応援できる最後の機会となりました。昨年、本年と招待いただいたBSA及び関係者に感謝いたします。

■登録関係

1. 市町村合併などに伴う（地区変更・再編含む）「団の名称（団コード）」の変更届出について

例年、日本連盟での次年度申請書類の作成前である11月に、団名の変更（地区再編や変更に伴う、団コードの変更を含む）に対応しています。

11月8日（火）までに届け出ていただきますと、翌年度の登録申請用の書類やデータを新団名と団コードで作成しお送りすることができます。*対象期間以外での変更は行えません。

教育規程「2-9 団の名称」のとおり、地区の変更・再編を含め、団の名称変更（団号含む）は「県連盟理事会の承認事項」です。変更を届け出ていただく場合は、必ず県連盟理事会の承認を受けたことを記載した文書をお送りください。

2. 「団通信連絡先」の確認と変更について

前項のとおり、例年11月下旬に翌年度申請用の書類を作成しています。印字項目である通信連絡先等に変更がある場合は、県連盟を通じてお知らせください。変更訂正のうえ、翌年度申請用の書類を作成します。

■日本連盟本部移転に関して

先にお知らせした通り、日本連盟の本部（スカウト会館）移転につきまして、9月23日（金・祝）より引越作業のためスカウト用品部を除き通常業務を休止し、10月3日（月）より再開いたします。下記の日程で作業を進める予定にしており、何かとご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお申し上げます。

なお、事務局ニュースに関しましても、次週は休刊いたします。ご了承ください。

移 転 先 住 所：〒113-0033 東京都文京区本郷1-34-3

業 務 休 止 日：9月23日（金・祝）～10月2日（日）

※引越作業期間：9月23日～9月30日（金）

新本部業務開始日：10月3日（月）

※一部業務（スカウト用品部倉庫業務）につきましては10月下旬まで、三鷹にて業務を行います。

電話切り替えについて：

- ・ 現在（＝三鷹）の電話は9月22日（木）をもって使用を中止いたします。
- ・ 新本部電話番号は、9月26日（月）に開通する予定ですが、引越作業中のため十分な対応ができない場合がありますので、ご理解をお願いいたします。
- ・ ファクシミリにつきましては新本部電話番号にて9月26日（月）から受信のみ可能となります

■日本連盟ホームページ <http://www.scout.or.jp/> アップデート

次のとおり更新しています。ご活用ください。

2011年 9月15日 事務局ニュース平成23年度第23号掲載

2011年 9月21日 「スカウトの日」結果速報を掲載

■維持会費の協力依頼について （県連盟宛Eメール版（本状）のみ掲載しました：ホームページ版には掲載されておりません）

◇平成23年9月13日現在入金額 24,335,000円

■登録状況

◇平成23年度加盟員登録数（平成23年8月末現在）

2,450団（対前年度 ▲100団）136,071人（対前年度 ▲13,714人、達成率90.8%）

《他団体事業等の紹介》

◇UNDP-GRIPS開発フォーラム共催セミナー Sigrid Kaag Talks @ GRIPS

「持続可能な開発に向けた課題と挑戦」

国連開発計画（UNDP）ではこの度、シグリッド・カーク国連事務次長補・UNDP パートナースHIP局長が来日するのに合わせて、政策研究大学院大学（GRIPS）とともに公開セミナーを開催いたします。シグリッド・カーク局長は長年ユニセフで要職を務めた後、現在はUNDP本部でドナー政府や市民社会、民間セクターとの連携を統括し、Rio+20に向けたアライアンス構築を推進しています。

本セミナーではカーク局長の講演に続き、外務省との政策対話や参加者とのダイアログも予定しています。国連機関の第一線で働く高官の話を直接聞ける機会ですので、ぜひご参加ください。

【セミナー詳細】

タイトル：UNDP-GRIPS 開発フォーラム共催セミナー Sigrid Kaag Talks @ GRIPS 「持続可能な開発に向けた課題と挑戦」

日時：2011年10月6日（木）午後4時半-午後6時

主催：UNDP、GRIPS 開発フォーラム

場所：政策研究大学院大学（GRIPS）会議室1A&1B（東京都港区六本木7-22-1）

地図は以下のURL <http://www.grips.ac.jp/jp/about/access.html> をご覧ください

定員：50名程度

言語：英語

申込み方法：以下のURL <http://www.undp.or.jp/symposium/index.php?id=5> から参加申し込みください。

先着順となります。

お問い合わせ：UNDP 東京事務所 03-5467-4751（担当：西郡、安部）

GRIPS 開発フォーラム 03-6439-6337/ m-iizuka@grips.ac.jp（担当：飯塚）

.....

**本日発行の事務局ニュースは8頁です。
この後、平成23年度ユースフォーラムの採択文・提言文2頁、
平成23年度「スカウトの日」即日集計表1頁があります。**

.....

ボーイスカウト日本連盟 <http://www.scout.or.jp/>